

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	MAG ニューロパチーについての後ろ向き観察研究 (B24-113)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経内科学 診療講師 金子淳太郎
本研究の概要・背景・目的	<p>MAG ニューロパチーは、まれな免疫介在性脱髄性多発神経障害です。60歳～70歳で発症することが多く、男女比はほぼ3:1で男性に多い疾患です。典型的には、遠位の感覚優位の失調性神経障害を発症し、数年かけてゆっくりと進行します。</p> <p>本研究の目的は北里大学病院で治療をした MAG ニューロパチーの患者さんを対象に、MAG ニューロパチーの症状、検査結果、治療反応性、予後について検討する事です。MAG ニューロパチーの疾患の理解を深め、治療の向上につなげることができると考えています。</p>
調査データ 該当期間	2012年1月1日から2025年9月15日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2014年10月1日から2025年9月15日の期間に、MAG ニューロパチーで治療を受けた患者さんが対象になります。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2012年1月1日から2025年9月15日までのカルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。診療記録、検査結果を参照します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用を開始する 予定日	利用開始予定日： 研究期間の長の許可日から。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学脳神経内科学研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができない情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部脳神経内科学・診療講師</p>

	担 当 者：金子淳太郎（カネコジュンタロウ） 電 話：042-778-8111
備 考	